

# 日誌

日誌 05月19日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	受付
		服薬指導
	10:00	受付
		薬歴
	11:00	薬歴
	12:00	休憩
	13:00	発注
	14:00	薬歴
		服薬指導
	15:00	薬歴
		調剤
16:00	調剤	
	日誌	
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	

# 日誌

日誌 05月19日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

本日は、受付業務の担当だったので、処方箋を患者さんから受け取る、マイナンバーカードとお薬手帳を持っているかの確認をした。また、OTCを探している患者に対して、どんなお薬を探しているか聞いた。目薬を探しているとのことだったので、目に痛みがあるのか、目が乾いているのかを聞いたことは良かったと感じている。

服薬指導も2件担当させてもらった。患者さんの名前と、何種類のお薬がどのぐらいの個数処方されているか確認できた。緊張せず、患者さんと会話ができたので、引き続き落ち着いて取り組んでいきたい。1件目の患者さんは、時間がないので急いで欲しい述べられた。このパターンは、OSCEでは想定していなかったもので、非常によい経験になった。時間がない患者さんに対して、どのお薬が、どのくらい出ているのかを確認する作業は最低限必要だと学んだ。

薬歴も2件分入力させてもらった。SOAPに何について記入するかは理解できていて良かった。Sについては、患者さんが発言したそのままの言葉を入力することを思い出させてもらった。

発注の仕方も少し体験した。在庫が半分になっている薬を選択したが、よく処方される薬については、最大数についても注目して考えるべきことを学んだ。

1件分、計数調剤を体験した。バーコードの場合と手打ちの場合があることを知れた。また、先発医薬品を希望する患者さんだったので、先発医薬品も覚えなければと感じた。

# 日誌

日誌 05月19日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月19日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	服薬指導の流れを的確に覚えていなかったもので、本日中に確認し、明日は今日より服薬指導が成長したい。用法・用量全体的に高齢の患者さんが多いので、声の大きさ、高さを意識して患者さんとお話したい。 過去の薬歴をみて、患者さんに伝えるべきことが今の段階では、全くわからないので、触れた薬から少しずつ知識をつけていかなければならないと感じた。薬について、指導薬剤師から複数質問してくださったが、すぐパッと答えられないのが現状なので、11週間の実習を通して、答えられるようになりたい。 本日関わった、アムロジピン、レバミピド、フロセミド、ガランタミン、ドネペジルについて復習する。また、前立腺がんがどのような病気か、認知症にはアルツハイマーの他にどんなのがあったのか振り返る。目薬5mLあたり、50回～100回ということを教えてもらい、何かの科目で教わった覚えがあるので確認する。 薬歴について、Aの項目を詳しくかけるようになっていきたい。
添付資料	実務実習事前学習のループリック.pdf 体調確認表(2025).xlsx
薬剤師のコメント	初日から2件服薬指導！頑張りました！素晴らしい！ いろいろな患者さんに触れて頑張っていきましょうね。  >患者さんに伝えるべきことが今の段階では、全くわからない なるほど！ そもそも、伝えることがメインでなくても良いかもですね。 患者さんに望まれる服薬指導とは？  例えば、アムロジピンが血圧の薬ということはちゃんと把握できていました。 ということは、患者さんは降圧治療をしているということも把握できていたはず。 さあ、何を話しましょうか？ 一緒に考えてみましょう！  トモヒロ 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 05月20日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.2 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調べる
		一包化
	10:00	調べる
		調べる
	11:00	調べる
		調剤
	12:00	服薬指導
		休憩
	13:00	休憩
		調べる
	14:00	調べる
		調剤
	15:00	調べる
		服薬指導
	16:00	服薬指導
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 05月20日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>本日実習したことは、一包化・調剤・発注したものの受け取り・服薬指導・薬歴・調べ物を行った。</p> <p>一包化については、大学で実習する機会も見学する機会もなかったので、経験できて良かった。手を洗い、消毒してから、錠剤を出すことを学んだ。確認する時は、裏側から見ると見やすい。</p> <p>調剤に関しては、昨日より多くの薬をピッキングしたので楽しかった。作用機序や患者さんの状態を考えながら取り出すと良いというアドバイスをもらった。1つの薬で120錠くらいを取り出したので、現場のリアルの量を実感した。</p> <p>服薬指導については、本日も2件経験させてもらえた。薬歴で処方日数を見ることで、前回より増えたのか減ったのかを確認できることを学んだ。昨日と比較して、用法用量について伝えることができたのは良かった。食事・運動・睡眠などを聞いて会話を広げることを学んだ。</p> <p>発注の受け取りは中々経験できることではないので、体験できて良かった。4万円近くする薬もあることを知り、より丁寧に扱わなければいけないと感じた。</p> <p>昨日より患者さんの人数が少なかったので、調べ学習がメインだった。本日触れた薬でも、10種類以上は超えると思う。特に、シロドシンとベオーバについて学習した。シロドシンは膀胱平滑筋に作用し、ゆるめることで排尿障害を抑制する。ベオーバは<math>\beta</math>3受容体刺激薬で、膀胱を広げ、尿を溜めることができる。また、適応外ではあるが、小児の夜尿症（おねしょ）に効果的だということを教えてもらった。</p> <p>投与間隔÷半減期が3以下であれば、定常状態のある薬だと学んだ。また、半減期×5で、定常状態まで到達する時間や日数も予想できることも学んだ。</p>
----------	--

# 日誌

日誌 05月20日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月20日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>まだまだ薬歴から読み取る力が足りないなと感じた。11週間あるので、少しずつ読み取れる力を身につけていきたい。</p> <p>タケキャップ、ロスバスタチン、クロピドグレル、エリキュース、カルベジロール、スピロノラクトン、エンレスト、ニフェジピン、フェロミア、フロセミド、ジャディアンス、ニトロペン、ベムリディ、シロドシン、ベオーバ、リフレックス、ロゼレム、デピゴ、クエチアピンについて、触れたので、どのような作用機序と適応する疾患がどれか調べ、覚えていきたいと思う。クエチアピンに関しては、どのような副作用があるか調べる。</p> <p>発注したものを受け取る時に、薬の名前を読み上げたが、スムーズに言えなかったので、カタカナに慣れていきたい。</p> <p>たくさんの量をピックアップしたので、スムーズにできるようになりたいという思いが強まった。明日は数個の場所を覚えてみようとする。</p> <p>昨日確認した薬が忘れかかっているので、もう一度確認したい。前立腺肥大については、検査方法を復習する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>〉調べ学習がメインだった。</p> <p>んーん。ちょっと言葉がもったいないかな。</p> <p>調べるのはそれぞれ何のために行っていました？</p> <p>おそらく、それぞれ目的が違っていたと思います。</p> <p>振り返りのコツとして、何のために行っているのかがわかるようにすると良いかも知れませんね。</p> <p>小川 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 05月21日                      東邦大学                      学籍番号( 1021166                      )                      氏名( 中崎   優奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		調剤
	12:00	服薬指導
		休憩
	13:00	休憩
		薬歴
	14:00	薬歴
		調剤
	15:00	調剤
		在宅
16:00	在宅	
	日誌	
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月21日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

本日実習したことは、調剤・服薬指導・在宅を実施した。  
調剤については、一包化とピッキングを行った。一包化については、1回1.5錠の薬が処方されていたので、ハサミで半分に割る作業を体験させてもらった。薬によって割れやすい、割れにくいがあることを教えていただいた。今回は割れやすい薬だった。一時、分包機のトラブルがあった。調剤において機械のトラブルが発生した場合、監査をより慎重にやった方が良いと教えていただいた。錠剤を1個1個出す作業を何回か行ったので、少しスピードが速くなって嬉しかった。午前中は、来局する患者さんが多く忙しそうだった。その中でも、薬剤師さんは速さ・正確さが完璧で、強い憧れを持った。  
担当させてもらえた服薬指導は、患者さんが子どもかつ新規のパターンだった。患者さんが子どもの場合、服薬指導をする相手はその保護者の方なので、用法用量をしっかりと伝えるべきかなと感じた。薬歴を書く際に、新規の方だったので、0に該当するものがわからなかった。検査値を書くイメージがあったが、患者さんを観察して感じたことなども記入できることを教えていただいた。  
在宅を行っている患者さんのお宅に伺わせていただいた。在宅に関する医療を実際に見学するのは初めてだったので、貴重な経験になったと感じている。患者さん本人だけでなく、その家族とも治療以外のコミュニケーションを取ることで、様々な情報を引き出せることを、見学を通して感じた。ケアマネジャーの方も同じタイミングで訪問しており、他の医療従事者の仕事を見れて良かった。ケアマネジャーの方や患者さんの家族の方と、情報を共有していて、チーム医療を見学できた。学生のうちだと、中々関われないと思うので、実習期間中に多くの在宅を見学したい。

# 日誌

日誌 05月21日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月21日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>錠剤を半分に割る時に、衝撃で薬を飛ばしてしまった。薬を持ちながら割る良いというアドバイスをいただいたので、次回実施する機会があればこの反省を活かしたい。錠剤の数が多い時は、きれいにシートがはまるように輪ゴムでとめるよう練習を積み重ねる。</p> <p>患者さんが胃腸炎やかぜと推定される場合、症状はいつ頃からでているのか、どのような症状があるのか、患者さんの様子を見てどのような症状があるのか、それらに対して共感するような話をするなどを服薬指導に取り入れていきたい。</p> <p>「医師に胃腸炎と言われ、ビオフェルミンを処方された。嘔吐があったため、ナウゼリンを飲んでる。胃腸炎の原因として、ウイルスや細菌、ストレスなどが考えられる。頭痛もあったので、自家中毒の可能性も考えられる。」まで、推測できるようになりたい。ビオフェルミン、ナウゼリンについて整理しておく。</p> <p>ある患者さんのリバーロキサバンがニプロではなくバイエルを使用する理由について、带状疱疹のワクチンについてを時間が取れる日に考え話し合う。リバーロキサバンについては、適応症を調べておく。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>リバーロキサバンは最も最近出てきたジェネリックです。 それに伴い薬局特有の注意点について考えてみましょう。</p> <p>&gt;ケアマネジャーの方も同じタイミングで訪問 あれ？ケアマネージャー？？ うーん。 ケアマネージャーとはどんな仕事でしょうか？ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 05月22日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	学習
		学習
	10:00	受付
		受付
	11:00	服薬指導
		受付
	12:00	在宅
		休憩
	13:00	休憩
		一包化
	14:00	一包化
		一包化
	15:00	一包化
		一包化
	16:00	日誌
		日誌
	17:00	日誌
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 05月22日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

本日実習したことは、受付・服薬指導・在宅・一包化・発注の受け取りである。最初に、昨日訪問した在宅の現場にいた方の職業について教えていただいた。昨日訪れていた方は、PT（理学療法士）の方だった。筋肉が固まらないように、患者さんの体を動かしていた。PTの他に、ST（言語聴覚士）、OT（作業療法士）の名前も教えていただいた。STは、あまり関わる機会が少ない職業の方らしく、主に病院で働いている。ケアマネジャーは、介護の計画を立てている。受付については、月曜日実施したことに追加で、お茶を差し上げる作業を行った。患者さんが心良く受け取ってくださり、お礼の言葉をいただけて、嬉しかった。患者さんから処方箋を受け取る時に、自分が患者さんの視線に入っていないと感じた。無意識に後ろで手を組んで患者さんに近づいているという指摘をいただいた。

1件の服薬指導を担当した。何か質問をすることを意識して、お腹痛いんですか、いつ頃からですかと聞いたのは良かった。用法・用量はきちんと患者さんに伝えられていたが、薬を飲むことにより起きる効果が伝えられなかった。この方は、新規の薬が処方されていたので、薬を服用することによる効果も伝えられると安心するかなというアドバイスを頂いた。

在宅については、熱があるが、病院にはいけないという患者さんのお宅に訪問した。電話がかかってきた時に、ボルタレンを服用するよう指示し、時間を空けてから訪ねた。これは、ボルタレンの効果が出ているのか調べるために時間を空けたと教えていただいた。効いていなかった場合、病院を受診するよう呼びかけることもできる。

クレアチニンクリアランスが低いと考えられる患者さんの目安が、女性・高齢・低体重の3つだと教えて頂いた。

# 日誌

日誌 05月22日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月22日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>理学療法士 (PT)、言語聴覚士 (ST)、作業療法士 (OT) について、どんな職業かすぐ出てこないなので調べてみる。ケアマネジャーについても同様に行う。併せて、介護保険の仕組みも振り返ってみる。(要支援・要介護、40歳からお金を払うなど)</p> <p>患者さんと話に行く際に、後ろで手を組み近づいてる。無意識にその行動をしているので、この動作を意識して無くしていきたい。また、患者さんの視界に入るために、患者さんがドアに入る前には既に患者さんのところに向かっていているようにしたり、少し前屈みの状態で近づいていこうかなと考えている。</p> <p>担当した服薬指導が、ファモチジンとトリメブチンマレイン酸塩が処方されていた。お薬手帳の方に、過去にエソメプラゾールが処方されていたことがわかった。お薬手帳を確認し忘れたこと、ファモチジンとエソメプラゾールの併用に関する知識が抜けていたことが反省として挙げられる。今回のアドバイスで、お薬手帳を確認する本当の意味を経験できたので、薬歴と同様に確認する。確認しても、気づける力がまだまだ未熟なので、服薬指導を経験して覚えていきたい。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;在宅について あ、あれは在宅というか、セルフメディケーション支援ですね。 単に、その場がご自宅だっただけで、、</p> <p>&gt;後ろで手を組み 私の小言まで、、、ありがとうございます。 素晴らしい。 患者さんの目線・視点・立場になってみる。その人になりきってみる。 いろいろな言い方がありますが、相手がどう感じるか？を想定してみると良いかもしれないですね。 逆にいえば、その相手によって変わるのかも。</p> <p>いろいろためしてみましようね。 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 05月23日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.3 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		服薬指導
	11:00	薬歴
		作戦会議
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	作戦会議
		作戦会議
	14:00	作戦会議
		作戦会議
	15:00	在宅
		作戦会議
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 05月23日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

本日実習したことは、調剤・服薬指導・在宅である。  
散剤の調剤を行った。研究室で培地を作る際に試薬を量って混ぜ合わせていたので、懐かしく感じて楽しかった。4種類の薬を量ったが、粉だけを棚に並べた。この状態だとこの粉がどの薬なのかわかりにくい。棚に置く際には、量った薬のすぐ後ろにその薬のボトルを置くと、この粉がどの薬なのか目視で確認できるというアドバイスをいただいた。  
昨日、朝・夕食分の一包化を実施した患者さんは、目が見えにくい。そのため、朝用には緑色、夜用には赤色でマーカートを引いた。患者さんがわかりやすいように、このような工夫も行っていることを学んだ。  
残薬調整を希望する患者さんが数名来店され、このような相談をする方は意外と感じた。残薬を増やす方に調整してしまうと日数がずれてしまうため、減らす側に調整した方がよいことを学んだ。  
服薬指導については、骨粗しょう症の患者さんを担当させてもらった。とても明るい方だったので、今までよりお話が長くできて良かった。患者さんとお話を続ける方法は、何を話すか考えない方がよいというアドバイスをいただいた。これだと、最初のうちは難しいので、患者さんの好きなことや、その家族についての話をすると続きやすい。  
前回、ドライシロップから錠剤に変更したいと患者さんから申し入れがあったが、新たな処方箋はドライシロップのままだった。プロトコルで対応していたのを見学した。  
在宅については、一包化したものを届けに行った。

# 日誌

日誌 05月23日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月23日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>処方されていた薬が、デノタスチュアブル配合錠であった。RANKL阻害剤投与後に服用する薬であることがわからなかった。「薬歴からは、RANKL阻害剤の注射薬を投与されているかは確認できないが、デノタスチュアブル配合錠が処方されているということは、RANKL阻害剤の注射薬を打っていると考えられる。」という読み取り方を教えていただいた。注射薬打った後にお飲みくださいと伝えたと、打ったよと言っていただいたが、病院で注射打ちましたかと聞いても良いかもしれないと感じている。イベニティという注射薬について教えていただいたので、添付文書を確認する。</p> <p>服薬指導では、この薬にはこのような効果があるということが伝えられない。自分自身が把握していないと、患者さんに説明するのは難しいので、担当した服薬指導で処方されていた薬については伝えられるようにしておく。</p> <p>骨粗しょう症については、薬理学の講義を受けた時に印象に残っている病態であるので、骨吸収や骨形成、骨粗しょう症の治療薬を復習したい。「コツキュウシュウ」</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;残薬を増やす方に調整してしまうと日数がずれてしまうため ちょっとニュアンスが違うかな？ 事後報告の形をとっているので、ずれることが問題なのではなく、医師の想定していた処方日数以上に薬を供給することになることが問題なんだと思います。</p> <p>&gt;病院で注射打ちましたかと聞いても良いかもしれないと感じている。 良いですね。これと &gt;患者さんとお話を続ける方法は これって、実は同じこと方向性ですよね。 お話をするには、相手に何を聴くか？が案外コツなのかもしれませんね。</p> <p>試しに、ご家族や友人にインタビューしてなるべく長く話を続ける試みをしてもらいたいかもしれませんね。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 05月24日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月24日 東邦大学 学籍番号( 1021166 ) 氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 05月24日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月24日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 05月25日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 05月25日 東邦大学 学籍番号( 1021166 ) 氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 05月25日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 05月25日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	